

## 宗像市雨に強いまちづくりビジョン検討委員会 第1回会議 議事録（要点筆記）

◇開催日時：令和4年12月19日（月）13時10分～14時40分

◇開催場所：宗像市役所 202会議室・オンライン

◇出席者：

委員（ <input checked="" type="checkbox"/> 出席 <input type="checkbox"/> 欠席）			
<input checked="" type="checkbox"/> ◎ 日高 圭一郎	<input checked="" type="checkbox"/> ○ 黒瀬 武史	<input checked="" type="checkbox"/> 渡辺 亮一	<input checked="" type="checkbox"/> 丸尾 明日香
<input checked="" type="checkbox"/> 豊福 正一			
オブザーバー（ <input checked="" type="checkbox"/> 出席 <input type="checkbox"/> 欠席）			
<input checked="" type="checkbox"/> 山口 広喜	<input checked="" type="checkbox"/> 高山 精一郎	<input checked="" type="checkbox"/> 中村 正次	

◎印は委員長、○印は副会長

◇会議内容

<次第>

- 開 会
- 議事録署名委員の決定
- 概要説明
  0. 雨に強いまちづくりビジョン～雨水管理総合計画～について
- 協議事項
  1. 優先的に対策を講じる地域（重点対策地区）について
  2. 計画降雨・照査降雨の設定について
- その他

<概要説明>

### 0. 雨に強いまちづくりビジョン～雨水管理総合計画～について

○事務局

- ・都市計画マスタープランの将来都市像である「コンパクトで魅力的な地域がネットワークする生活交流都市」の実現に向け、立地適正化計画に基づく都市機能の集積と居住の誘導、公共交通の充実を図ることで、安全で暮らしやすい都市の実現をさらに推進するため、水災害リスクを踏まえた雨に強い「まち」を都市将来像の一つとし、その実現に向けた道筋を明らかにすることを目的として、「雨に強いまちづくりビジョン～雨水管理総合計画～」を策定する。

<協議事項>

### 1. 優先的に対策を講じる地域（重点対策地区）について

○事務局

- ・対象区域を市内全域とし、対象区域を「浸水対策実施区域」と「浸水対策実施区域外」とに区分する。また、浸水対策実施区域を「重点対策地区」と「一般対策地区」に区分する。
- ・リスク分析の結果、概ね赤間駅周辺と東郷駅周辺を旧国道3号で結ぶ区域を重点対策地区とする。

○黒瀬副委員長

重点対策地区の線引きは、今後、明確化するのか。

○事務局

ご指摘のとおり、区域を明確化する。

○黒瀬副委員長

特に、居住誘導区域で浸水が想定される状況、都市内の交流軸である旧国道3号が道路冠水してしまう状況、その2点が今回の計画の主目的と考える。どのような考え方で、何を達成していくのか、本ビジョンにおいて明確にした方が良い。

○事務局

承知した。

○日高委員長

重点対策地区はシミュレーションを行う。また、周辺地区は現地調査を行い、その結果、何かしらの対策が必要となれば、対策を施すと理解で良いか。

○事務局

ご理解のとおりである。

## 2. 計画降雨・照査降雨の設定について

○事務局

- ・土地利用現況に応じて、それぞれ流出係数を設定する。
- ・計画降雨（L1）は市内全域を同一とする。また、確率年は10年を採用し、68.2mm/hrとする。
- ・既往最大降雨（68.0mm/h）を照査降雨（L1'）とする。

[流出係数について]

○渡辺委員

本ビジョンにおいて、採用する流出係数の考え方を示したと理解して良いか。

○事務局

ご理解のとおりである。

[計画降雨・照査降雨について]

○渡辺委員

計画降雨（L1）に係る浸水被害の対策として施設整備を行うと理解して良いか。

○事務局

ご理解のとおりである。具体の整備水準などを本ビジョンにおいて示す。

○渡辺委員

新たな計画降雨の設定については妥当と考えるが、整備済の既存施設の対応に係る考え方を伺いたい。

○事務局

整備済の施設の能力を拡大することは、費用的な観点から、効率的ではない場合が多いため、

不足する能力を有する施設を新たに整備する方向で考えている。具体の方策を本ビジョンにおいて示す。

#### 【全般に係る意見やアドバイスなど】

○黒瀬副委員長

恐らく、水田が多い地区など市街化が進んでいない区域の方が、より水を貯留する機能を高めやすいと考えられるため、対策の自由度は高いのではないと考える。

○黒瀬副委員長

計画降雨や照査降雨の設定について、安全を優先した値とすることは良いが、一方で、安全を優先し過ぎて過剰な整備を行うことが良いとは言えない。

○渡辺委員

今回、安全を優先したビジョンを策定しようとしていると理解できる。宗像市は1991年に68mm/hrを経験しており、線状降水帯など近年の降雨状況を踏まえると、計画降雨や照査降雨の設定について、過大とは言い難く、妥当であると考えられる。当面ここを目指す、そして次にここを目指す、そういった妥当なロードマップを示すことで、市民の方の理解も得やすいと考える。

#### 【協議事項総括】

○日高委員長

「1.優先的に対策を講じる地域（重点対策地区）について」、「2.計画降雨・照査降雨の設定について」は事務局が示した方針に基づき、ビジョンの策定を進めることとし、また、本日、各委員が述べた意見やアドバイスを活用すること。

<その他>

○福岡県下水道課（中村課長技術補佐）から情報提供

○事務局

以上をもって、第1回宗像市雨に強いまちづくりビジョン検討委員会を終了する。